

日頃から災害に備えましょう

⑳ ～家具を固定しよう～

NPO 法人環境防災総合政策研究機構
理事 宇井 忠英

問 総務課総務係
(市役所2階 ☎23-3331 内線242～244・465)

震度5弱以上の地震になると固定していない家具が倒れたり、棚から本や食器などが落ちてきて、ケガをしたり、最悪の場合、死に至ることがあります。大きな経費をかけずにこうした災害を防ぐのが家具などの転倒・移動・落下対策です。

今回はホームセンターにあるいろいろな防災対策用品を使った家具の固定方法を紹介します。

タンスなどの 転倒防止

ホームセンターの防災用品コーナーでよく見かけるのは、タンスなどと天井の間に取り付ける突っ張り棒です。

しかし、使い方を誤ると肝心な時に役に立ちません。天井のボードの裏には格子状に棧があるだけなので、家具の端に合わせて突っ張り棒を立てただけでは、天井側は棧のない強度が足りない場所に当たってしまうことが多く、肝心な時には天井のボードを突き破り、突っ張り棒が外れて家具が倒れてしまいます。こうした事態を避けるために、板を購入して2本の突っ張り棒と天井の間に挟み込み、突っ張り棒はできるだけタンスの後ろの壁に近付けて取り付けましょう。

また、家具の下部の前面に敷く、くさび状の転倒防止シートを使うと

タンスの上部が壁面にもたれかかるようになり転倒防止の効果が一層増します。

上下に分かれているタンスは、連結するための粘着力のある連結シートを使うとより効果があります。

L字型金具やベルトで 固定する

L字型金具やベルトを使って家具を柱や壁に固定する方法があります。この場合も、壁面のボードの裏は格子状にしか棧がないので、補助の板を木ねじで確実に棧に固定してから板にL字型金具やベルトを取り付けましょう。L字型金具の厚さは2mm以上ないと肝心な時に変形してしまいます。木ねじの長さも25mm以上ないと棧に十分に固定できません。

棧の位置がわからない場合は、針をさして棧を探す製品を使うと簡単に見つけられます。



観音開きの扉の対策

戸棚の観音開きの扉が開いて、中身が飛び出すのを防ぐ方法です。

家具に傷をつけないように両面テープで張り付ける商品は、強い力がかかるとはがれてしまい、肝心な時に役に立たない可能性があります。

振動を検知すると棒や球が移動して扉が開かなくなるという扉ロックがあります。両側の扉の間にチェーンをかける商品は構造が単純で、日常の開閉も簡単なのでおすすめです。

また、戸棚の扉にガラスがはめられている場合があります。戸棚の転倒は固定することで防げますが、中身が動きまわってガラスを突き破る可能性があるので、扉の内側にガラス飛散防止フィルムを張り付けると効果的です。



耐震マットの利用

薄型の液晶テレビやパソコンのモニターなど、重心が高くて不安定なものには、粘着力の強いジェル状の耐震マットを底に敷きましょう。花瓶など不安定なものの底面にも貼っておくと安心です。



照明器具の落下防止

天井から照明器具を吊り下げている場合は、外れて落下する危険を防ぐために、釣り手のチェーンを付け加えた方が良いでしょう。

大型冷蔵庫の固定

大型の重い冷蔵庫は、裏の最上部に運搬の際に使うひもを通す部品がついています。

ここにベルトを通して壁に固定するのが良いでしょう。



洗濯機や乾燥機の固定

洗面所などに洗濯機を置くときに、上部に乾燥機を設置する専用の棚があります。スペースの節約には有効ですが、重心が高くて不安定です。

棚の柱を壁面に固定し、乾燥機と天井との間には突っ張り棒を取り付けましょう。

キャスター付きの家具対策

パソコンデスクやピアノなどのキャスター付きの家具は、地震の震動で大きく動き回ってしまう危険があります。キャスターに靴のようなものを履かせて、床に穴を開けずに固定できるキャスターストップパーを取り付けることで、防ぐことができます。



今回は、ホームセンターで見かける製品を使った対策を紹介しましたが、インターネットで検索してみると、いろいろな製品があり、通販で手に入れることもできます。我が家を安全にするために、今回紹介した家具などの転倒・移動・落下の防止方法を参考に、できるところから防災対策を実行してみませんか。